

# 富士市地球温暖化対策実行計画（事務事業編第三期計画）

## 令和3年度 実績報告

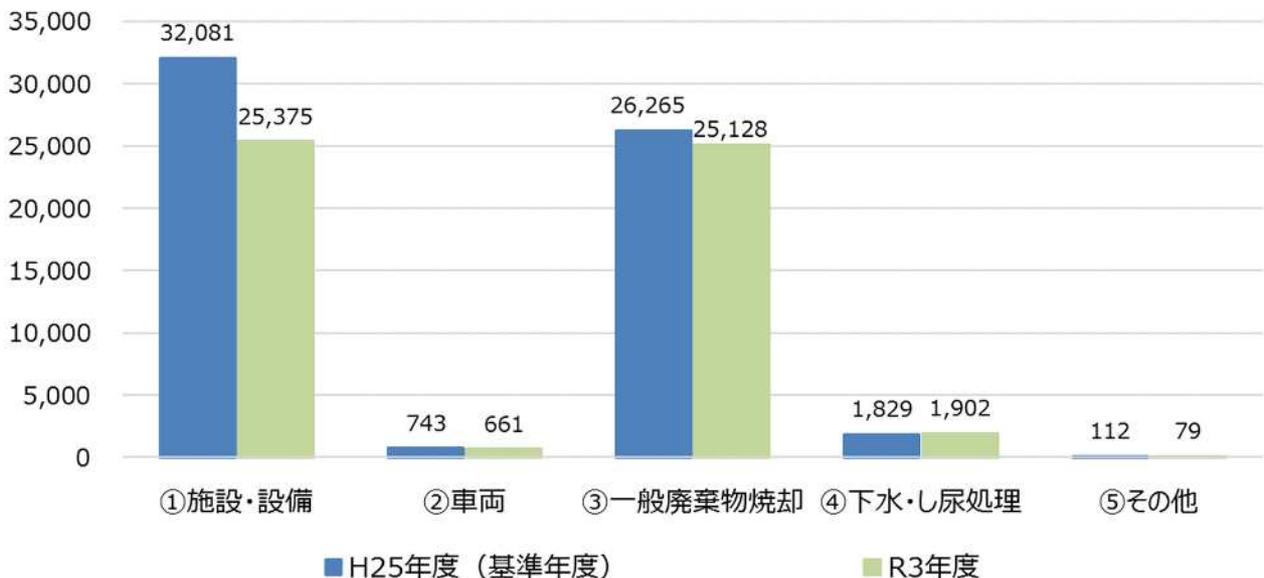
### 1 温室効果ガス排出量について

区 分	排出量(t-CO <sub>2</sub> )		基準年度（H25年度）比		R12 目標増減率
	H25年度 (基準年度)	R3年度	増減量 (t-CO <sub>2</sub> )	増減率	
①施設・設備の運営に伴う排出量	32,081.2	25,374.6	-6,706.6	-20.9%	-40.0%
②車両の使用に伴う排出量	742.7	660.8	-81.9	-11.0%	-28.0%
③一般廃棄物焼却に伴う排出量	26,265.0	25,128.0	-1,137.0	-4.3%	-7.3%
④下水・し尿処理に伴う排出量	1,829.1	1,902.1	73.0	4.0%	13.4%
⑤その他*	111.6	78.5	-33.1	-29.7%	0.0%
合 計	61,029.6	53,144.0	-7,885.6	-12.9%	-24.1%

※笑気ガスの使用に伴う排出量、フロン漏えいに伴う排出量

(t-CO<sub>2</sub>)

#### 区別別 温室効果ガス排出量の比較



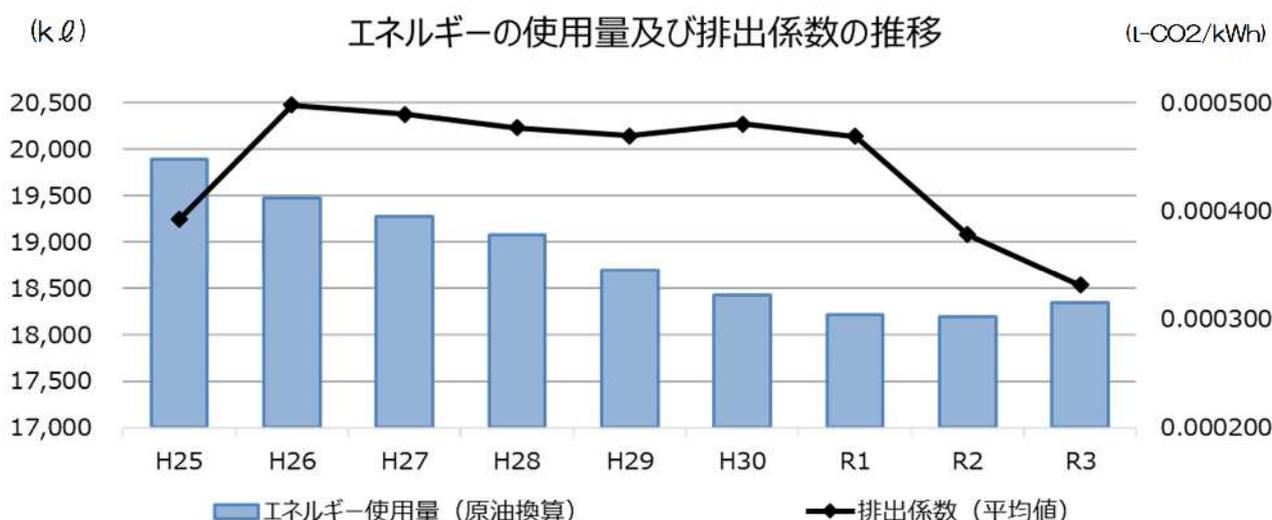
## <基準年度に対する主な増減要因>

### ➤ 施設・設備の運営に伴う排出量（区分①）

市有施設の運用によるエネルギー使用（電気、ガス等）に伴って排出される温室効果ガス排出量。

基準年度と比較し、エネルギー使用量（原油換算）、電力事業者の排出係数<sup>※1</sup>が減少したため、排出量が減少した。特に、排出係数は、新環境クリーンセンターの廃棄物発電による電力を公共施設で利用するという、全国でも事例の少ない先進的な取組により大幅な低減につながった。（エネルギー使用量は、基準年度比で1,555kℓ、7.8%の削減。）

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
エネルギー使用量（原油換算）	19,892	19,470	19,278	19,075	18,694	18,423	18,212	18,193	18,337
排出係数（平均値）	0.000392	0.000498	0.000489	0.000477	0.000469	0.000480	0.000469	0.000378	0.000331



※1：電力を1kWh使用した際の排出量。発電方法（火力、原子力等）の割合により異なる。

### ➤ 一般廃棄物焼却に伴う排出量（区分③）

一般家庭等も含めた市域全体から排出された一般廃棄物焼却に伴う排出量<sup>※2</sup>。廃プラスチック、合成繊維の焼却に伴い、温室効果ガスが排出される。

基準年度と比較すると一般廃棄物全体の焼却量が減少し、特に合成繊維の焼却量が減少したため、排出量が減少した。

#### 【廃プラスチック及び合成繊維の焼却量】

区分	H25(基準年度)		R3		
	焼却量(t)	排出量(t-CO <sub>2</sub> )	焼却量(t)	排出量(t-CO <sub>2</sub> )	基準年度比
焼却量	70,128.6	-	61,996.3	-	-12%
廃プラスチック等	7,630.0	21,135.1	7,885.9	21,844.0	3%
合成繊維	1,701.3	3,859.9	976.3	2,235.7	-43%

※2：区分③の排出量では、上表の廃プラスチック等と合成繊維焼却に伴う二酸化炭素排出量のほか、メタン及び一酸化二窒素の排出量も合算しています。

## 2 富士市環境マネジメントシステム目標に対する取組状況

富士市環境マネジメントシステムでは、「富士市地球温暖化対策実行計画（事務事業編第三期計画）」で定める温室効果ガス削減目標達成のため、電気使用量等について、年度当初に目標値を設定し、進捗管理することとしている。ここでは、本目標値に対する取組結果について示す。

### (1) 電気使用量

目標値 前年度比 1%削減

結果 前年度比（市）0.1%削減 （教）4%増加

未達成

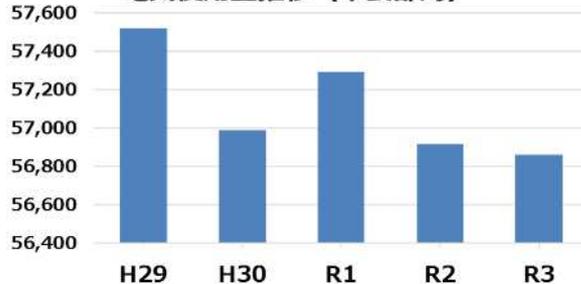
市長部局においては前年度比 0.1%の削減、教育委員会においては前年度比 4%の増加となり、目標未達成となった。R3 年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努め、施設や学校を通常運営に戻すよう取り組んだ。教育委員会においては、換気を行いながら空調稼働したことが使用量増加の大きな要因である。

(単位：千 kWh)

	R1	R2	R3	増減量
市長部局	57,292	56,915	56,859	-56
教育委員会	5,965	6,407	6,666	258

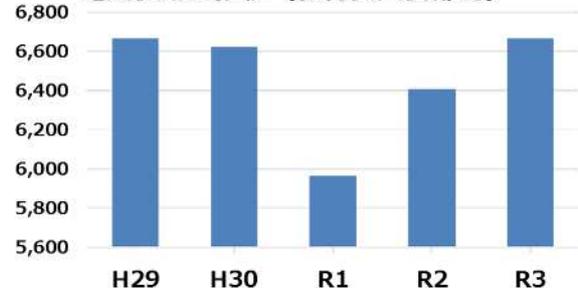
(千 kWh)

電気使用量推移（市長部局）



(千 kWh)

電気使用量推移（教育委員会部局）



### (2) 電気以外の燃料使用量

目標値 前年度比 1%削減

結果 前年度比 5%増加

未達成

#### 【使用用途・未達成要因】

L P G：学校調理室での使用がメイン。給食回数の変化による影響が大きい。(R2は4・5月が休校)

ガソリン：草刈用具に使用。昨年度まで車両扱いとしていた芝刈り機6台（富士総合運動公園野球場）を本項目に含めたことにより増加※。その他の施設では全て減少。

灯油：新環境クリーンセンターでの助燃剤利用がメイン。7月の大雨によりごみ質が低下したことと使用量が増加。

	R1	R2	R3	増減量	増減率
LPG(m <sup>3</sup> )	207,461	188,774	200,233	11,460	6.1%
都市ガス(m <sup>3</sup> )	906,358	862,496	904,092	41,596	4.8%
ガソリン(ℓ)	857	627	1,928	1,301	207.4%
灯油(ℓ)	251,599	321,272	333,014	11,742	3.7%
A重油(ℓ)	54,904	57,434	56,187	-1,247	-2.2%

※富士総合運動公園野球場のガソリン使用量は、R2年度比で1,518ℓ、798.9%の増加。

### (3) 公用車の燃料使用量

目標値 前年度比 2%削減  
結果 前年度比 0.2%増加



#### 【燃料ごとの分析】

CNGは目標を達成したが、軽油は減少したものの目標に届かず、ガソリンは増加であったため、目標未達成となった。ガソリンの使用量については、新型コロナの影響により減少したR2年度と比較して増加した。しかし、ウェブ会議やテレワークに積極的に取り組んだ結果、コロナ前のR1年度比で減少しており、一定程度公用車利用の抑制を実現している。

引き続き、ウェブ会議の活用、エコドライブ、自転車の活用等を推進していく。

※ガソリンは職員が移動手段として使用する自動車、軽油とCNGは特殊な用途として使用する自動車（例：消防ポンプ車、新環境クリーンセンターパッカー車等）が多い。

燃料使用量

	R1	R2	R3	増減量	増減率
ガソリン (ℓ)	159,108	146,990	151,791	4,801	3.3%
軽油 (ℓ)	92,991	91,624	90,146	-1,478	-1.6%
CNG (m <sup>3</sup> )	28,155	30,340	27,447	-2,893	-9.5%

走行距離

	R1	R2	R3	増減量	増減率
ガソリン (km)	1,401,232	1,246,843	1,310,125	63,282	5.1%
軽油 (km)	320,541	313,225	308,327	-4,898	-1.6%
CNG (km)	89,093	85,370	73,107	-12,263	-14.4%

### (4) グリーン購入

目標値 グリーン購入率 100%  
結果 グリーン購入率 85%



資料5を参照

### (5) 紙使用量

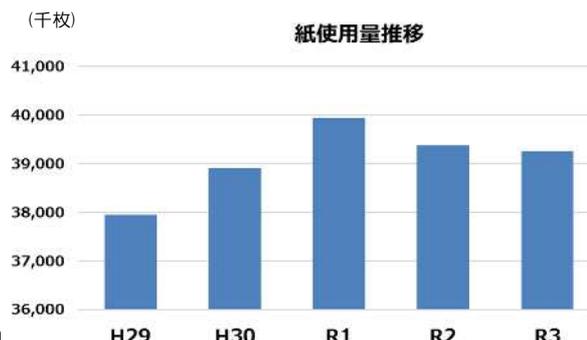
目標値 前年度以下に抑制  
結果 前年度比 0.3%削減



前年度比 0.3%の削減により、目標を達成した。R3年度は、事業や会議の中止・再開が所属ごとに様々であり、使用量の増減に影響を及ぼしている。全体的としては、デジタル化や両面印刷・2up印刷等の適切な利用が行われている。

(単位：千枚)

	R1	R2	R3	増減量
紙使用量 (枚)	39,931	39,378	39,255	-123



## (6) ごみ排出量

(本庁舎・消防防災庁舎のみ)

**目標値** 前年度以下に抑制

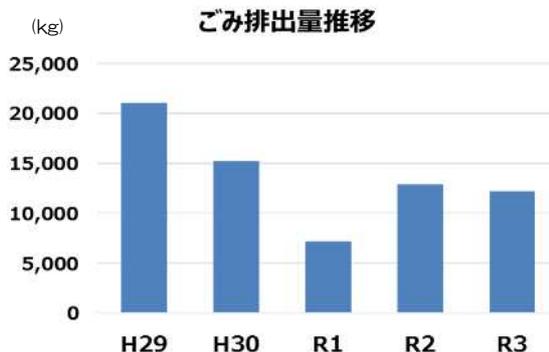
**結果** 前年度比 9%削減

達成

分散勤務の実施等により、庁舎からのごみ排出量は減少した。

また、排出量に関係はないが、種類ごとのごみ箱設置等により、分別の徹底が進んだ。

	R1	R2	R3	増減量
ごみ排出量 (kg)	7,200	12,841	12,193	-648



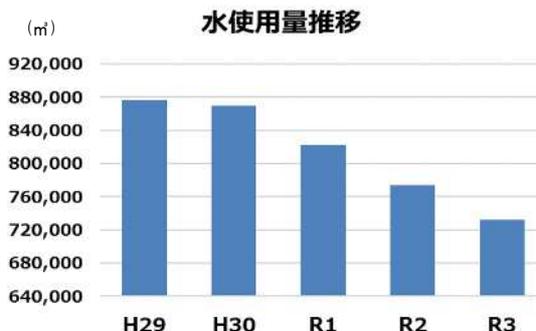
## (7) 水使用量

**目標値** なし（無駄な利用をなくす）

**結果** 前年度比 5.3%削減

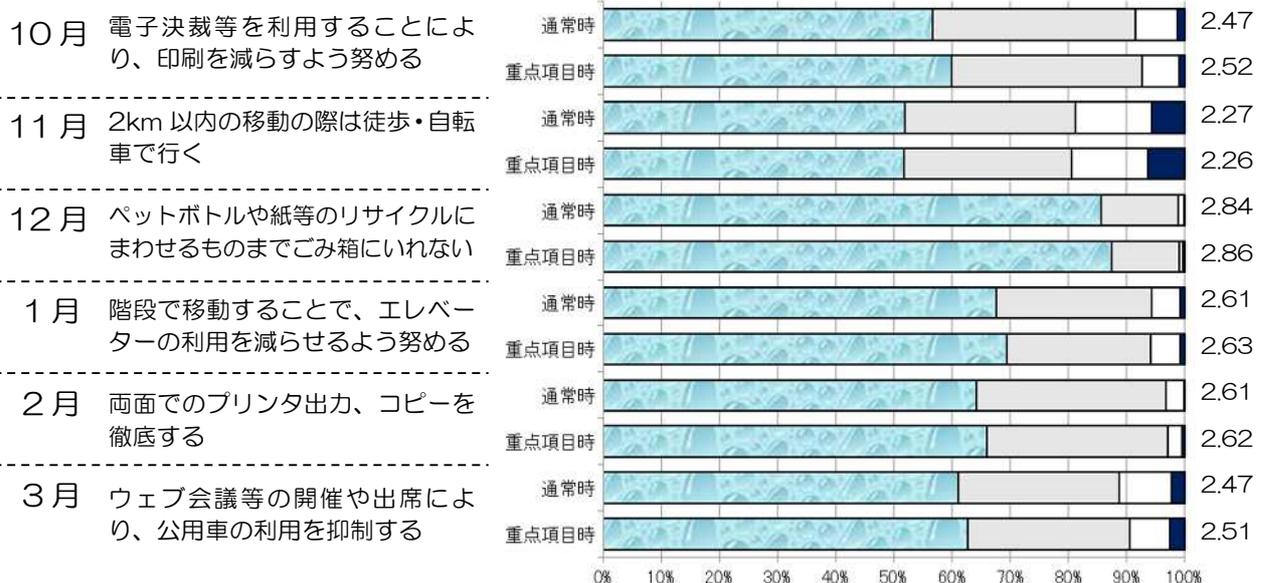
各施設において、無駄な利用がなくなるよう取り組んだ結果、削減につながった。また、富士総合運動公園温水プールの営業が令和2年6月に終了したことや砂山公園プールの営業中止も大きく影響している（約 9,000 m<sup>3</sup> の削減）。

	R1	R2	R3	増減量
水使用量 (m <sup>3</sup> )	822,525	773,347	732,730	-40,617



## 3 令和3年度下半期 職員個人のエコチェック集計結果

■ 常に実施した
 ■ おおむね実施した
 ■ 実施することが少なかった
 ■ 実施しなかった



## 4 設備の更新結果

令和3年度は、ESCO 事業を除き、以下の4つの施設において設備を省エネタイプへ更新した。

所管課	所属・施設名	更新設備	エネルギー使用合理化 期待効果（原油換算kl/年）注1	施設のエネルギー使用量 に対する削減割合
教育総務課	鷹岡小学校	照明設備	0.02kl/年	0.1%
教育総務課	大淵第一小学校		0.16kl/年	0.3%
教育総務課	岳陽中学校		0.25kl/年	0.5%
教育総務課	須津小学校		0.32kl/年	1.0%
合計		-	0.75kl/年	0.5%

注1…設備の更新によって期待される1年あたりのエネルギー削減量（kl）。原油換算して表す。

## 5 環境関連法令等の遵守について

富士市環境マネジメントシステムにおいて、「各所属・施設は、毎年度当初に各所属・施設の事務事業や施設の管理運営に関して、どのような環境関連法令等が適用されるかを確認し、適用される法令等を遵守することを常に念頭において業務を行うこと」を規定している。

事務局において、各所属から適用される環境関連法令等の報告を受け、とりまとめを行っているが、適用される法令の確認等については、必ず各所属・施設において行い、漏れがないようお願いしたい。

※その他の法令等は、次ページの「令和3年度 環境関連法令等適用状況・遵守評価一覧表」を参照